

【社会実験 計画】

STEP1：4月16日（木）～5月20日（水）

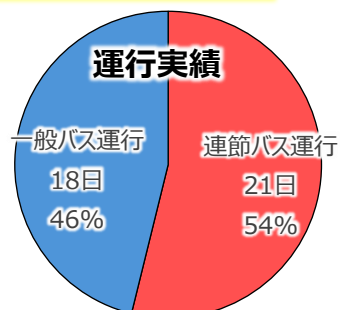
「試走、習熟運転」を行いました。
（「乗客なし」で走行しました）

- 確認事項
 - ・ すべてのバス停での停車位置
 - ・ 運行上の安全確保
 - ・ 一般交通や利用者への周知 など

STEP2：6月1日（月）～7月24日（金）延べ39日

「乗客を乗せて」運行します。

- 路線バス「長潟線」の新潟駅→駅南方面
- 平日の朝8:58発 1便
- 確認事項
 - ・ 乗客のバス乗降利用
 - ・ 一般交通の確認 など



※ 連節バス車両整備時、一般バスで運行

※ 年度内に、さらなる実験運行を予定しています。

弁天橋を渡る
ツインくる



連節バス駅南運行社会実験：STEP 2（乗客を乗せた運行）結果概要 2/2

- 社会実験便が運行する時間帯は、鉄道※が10分間に3～4本が新潟駅に到着し、改札口からバスのりばなどへ人の流れができる時間帯。 ※ 信越線、白新線、越後線
- 新潟駅バスターミナルの長蛇の列は、数分間隔で運行する一般バスに連節バスが加わることで解消し、歩行者空間、点字ブロックの機能確保などにつながった。
- 社会実験便の利用は、雨天や月～木曜日に多い傾向があり、弁天橋、北谷内、南長湯で多くの降車者を確認した。
- 利用者からは、従来の「満車で乗車できない」「車内が混雑する」などの状況に対し、「次の便を待つ回数が減った」「車内にゆとりができた」など効果を実感する声があった。
- 交通状況について、連節バス運行による渋滞や事故はなかった。
- こうした状況は、時間帯、方向（駅南→駅）などで変化するものと考えられるため、アンケート結果も踏まえながら、引き続き社会実験で確認していく。

6月3日（水）新潟駅バスターミナル 連節バス運行前後のバス待ち列の変化

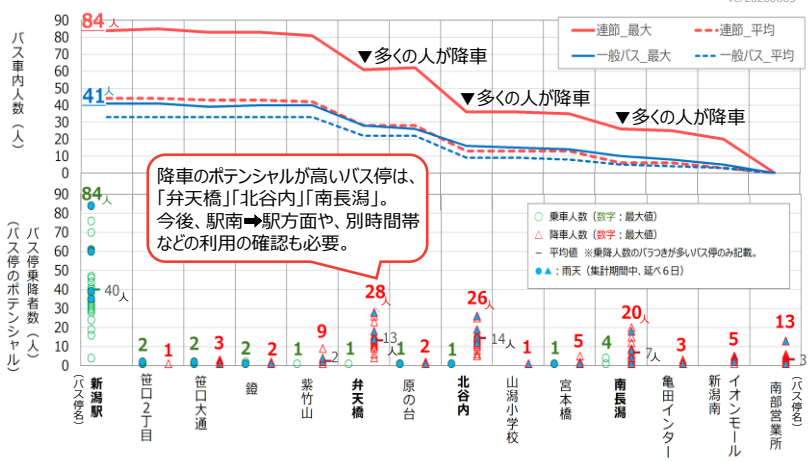
- 列車の到着にあわせて、バス待ち列に利用者が次々と加わる。
- 一般バス車両の運行※だけでは、バス待ち列は解消されない。
※ 3～5分間隔で運行
- 点字ブロックも閉塞。



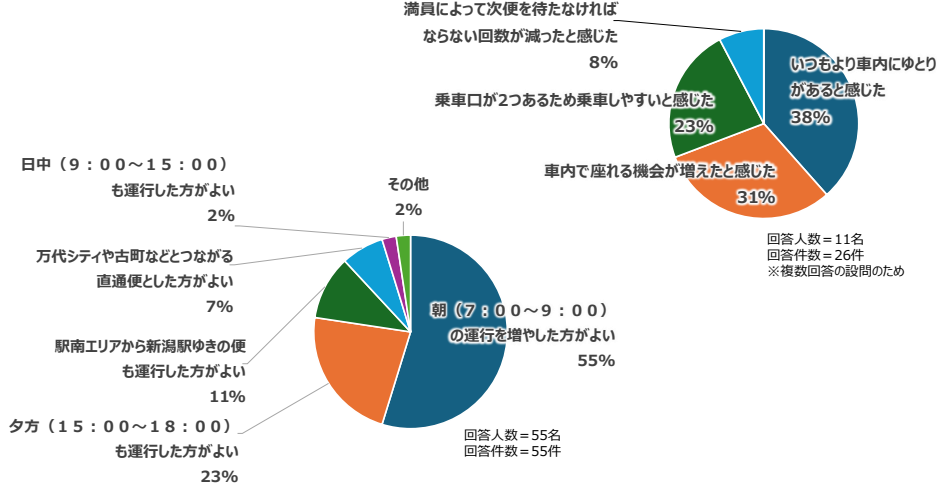
- 連節バスの到着後、バス待ち列が順次短くなる。
※ 連節バス乗車人数：84人
- 連節バスの運行により、長蛇の列が解消される。
※ バス待ち列は、新たな利用者が加わり20人程度
- 歩行者空間、点字ブロックの連続性も確保。

社会実験便の利用状況 ※平日 新潟駅8時58分発 南部営業所ゆき

- 連節バス1台で、一般バス2台分（運転士2人分）の輸送力効果を発現。
- 天候によらず、多くの利用が確認された。
- ※ 曜日別では、金曜日の利用が少ない傾向にある。



バス利用者の声 ※STEP2期間中、2日間で500人を対象にアンケートを実施



交通状況調査 ※7月8日（水）

- <路線全体>
- 連節バスのバスベイ停車や降車にともなう後方の車列は確認できなかった。



連節バスを追い越しできる車道幅を確保して停車。
→ 後方に車列は確認できなかった。



バスを追い越しできる車道幅がないため、平時からバス停車時に車列ができるバス停。
→ 連節バス停車時も通常時と変わらず車列を確認した。



- <宮本橋バス停>
- バスベイがないため、道路上に停車して乗降を行うバス停形状。
- そのため、社会実験期間内外、バスの種類にかかわらず、交通量が多い時間帯には、バス停停車時に後続車両の列がみられる。